

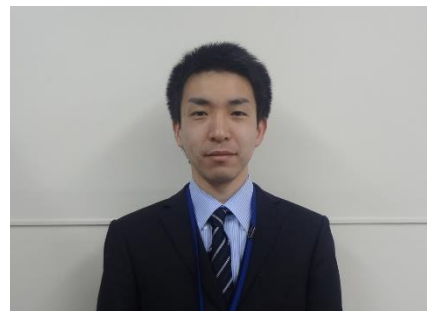
# 20年、30年先のふくしまをつくる

副主査 熊坂 秀人

所属：道路計画課

採用：平成22年度

学生時代の専攻：生命環境科学研究科 地球科学専攻



## ■福島県職員を志望したきっかけ

福島県で仕事がしたいという思いが一番です。学生時代に離れて感じた福島県の魅力、郷土の良さ  
に一生の仕事をするなら福島県でと考えていました。そのような私にとっては、県内全域でなおかつ様々  
な仕事ができる県職員という仕事は、正に希望どおりのものでした。

当時は、土木の技術職へのあこがれより、県職員へのあこがれが強かったと思います。

## ■これまでの経歴

- 平成22年度～ いわき建設事務所 道路課（道路の改良工事、歩道整備工事の監督）
- 平成23年度～ いわき建設事務所 復旧・復興課（道路や橋の復旧工事の監督）
- 平成25年度～ 宮下土木事務所 業務課（道路や川の維持管理、橋の補修工事の監督）
- 平成27年度～ 道路総室 道路計画課

## ■現在の仕事内容

私が所属している道路計画課は将来の道路計画や国、市町村との調整  
等の業務を行っています。「今」ではなく「これから」の福島のために働  
いており、今後の福島の道路行政のかじ取り役を担っていると云えます。

私が担当しているのは、主に原発事故によって影響を受けた地域内の  
調整業務となります。地域の復興のために様々な声がある中でへの対応に、  
難しさを感じていますが、復興に寄与できることにとてもやりがいを感じ  
ています。



一般の方に福島県を紹介しています

## ■これまでの仕事で印象に残っていること

東日本大震災発災当日から被災地のパトロールをし、災害復旧に直接関わる部署で働いてきましたが、  
少しずつではありますが復旧・復興が見えてきたことは感慨深いものがあります。復旧事業の中で特に  
思い出深いものが、東日本大震災において被災し長期間通行止めを強いられていた道路の大規模災害復  
旧工事を担当したときです。当時の現場は、余震の中での作業でありながら一刻も早い通行止めの解除  
が求められており、気が休まる暇がない時期でした。計画どおり災害復旧を終え通行止めを解除したと  
きにいただいた、地域の皆様からの感謝の言葉は、一生忘れることが出来ない思い出となっています。

## ■仕事の魅力・やりがい

土木職員の魅力は、地域の要望や不便の解消といった、喜ばれる仕事ができることです。地域の皆様  
から要望があり、それに応えて“もの”が作られます。社会人において、感謝の言葉をもらえるという

機会はほとんど無いのではないのでしょうか。「ものづくり」ができる土木職の大きな魅力といえます。

また、福島県はワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。ワーク・ライフ・バランスとは仕事と生活のバランスを良くすることで、仕事と私生活の充実を図るというものです。福島県の復興に向けては、今後も長い時間がかかりますから仕事の充実には私生活の充実が重要といえるのです。私生活の充実を目標とする職場、大きな魅力ではないのでしょうか。

### ■未来の後輩へのメッセージ

福島県の土木職員として、少しですが福島県の復興に寄与できていることに誇りを持って仕事ができます。皆様も復興に寄与したいと考える方は、決して少なくないはずで、福島県の復興の先頭に立つ仕事に取り組めるのは福島県職員だけです。力を合わせて、復興に向けがんばっていきましょう。